



旧芦屋市宮宮塚町住宅 01

北東面外観

公営住宅標準設計 52FC 型を用いた外観。
外壁は日華石を用いた石造。



旧芦屋市宮宮塚町住宅 02

北西面外観

階段室から直接各住戸へアクセスする階段室型で、階段は屋外に出ている。



旧芦屋市宮宮塚町住宅 03

南東面外観

バルコニーの両端に設けられた突出する壁は、意匠的にもスラブと壁との面的な構成を強調するデザインとなっている。



旧芦屋市宮宮塚町住宅 04

南西面外観

南壁の浴室撤去部分は、竣工時のバルコニーらしく復元し、1階にはオープンな利用にも対応できるようにウッドデッキを新設している。



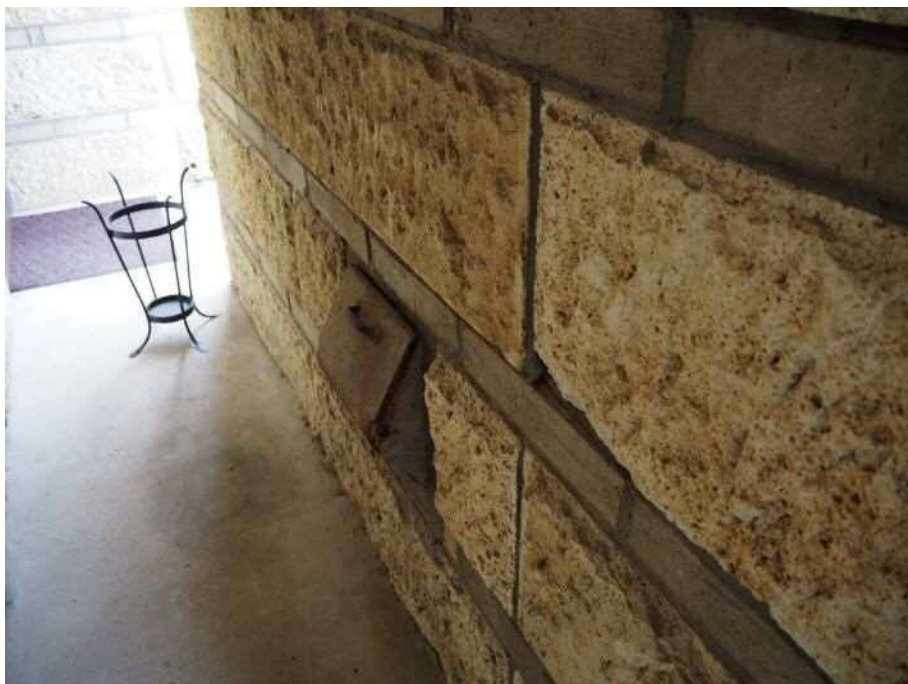
旧芦屋市宮宮塚町住宅 05

外壁(東壁)の石材(日華石)・

鉄筋コンクリート造スラブ・

コンクリートブロック

日華石の表面には、「ツルメ」と呼ばれる加工痕が顕著に残る。スラブとコンクリートブロックは、表面を洗い出し仕上げとすることによって石材とコンクリートの材質の違いを目立たなくさせ、建物全体が石造であるかのようなデザインを生み出している。



旧芦屋市宮宮塚町住宅 06

ゴミ箱の投入口

1階の階段室の壁には、ゴミ箱の鉄製の投入口が設けられている。



旧芦屋市営宮塚町住宅 07

市営住宅時の間取（2階6号室、リノベーション前）

南西（台所側）から撮影。居間兼客間の板間と6畳と4畳半の和室。



旧芦屋市営宮塚町住宅 08

台所（1階4号室、リノベーション後）

木製に金属板張りの流し台はじめ昭和20年代の台所が、ガラス工房となった今も良好に保存・活用されている。



旧芦屋市営宮塚町住宅 09

台所の床下収納（1階4号室、リノベーション後）

1階にのみ設けられた台所に床下収納。ガラス工房となった今も良好に保存されている。



旧芦屋市宮宮塚町住宅 10

便所・物入の板戸（1階3号室、リノベーション後）

設計図の建具表に描かれている竣工当時の木製の板戸が、革靴店となった今も良好に保存・活用されている。



旧芦屋市宮宮塚町住宅 11

板間の袖壁（2階7号室、リノベーション前）

板間には、台所の一部を遮る袖壁が設けられている。



旧芦屋市宮宮塚町住宅 12

活用状況 1（1階1号室、紅茶専門店の入口）



旧芦屋市宮宮塚町住宅13
活用状況2（1階1号室、紅
茶専門店の店内）



旧芦屋市宮宮塚町住宅14
活用状況3（1階2号室、革
製品店）



旧芦屋市宮宮塚町住宅15
活用状況4（1階3号室、革
靴店）



旧芦屋市宮宮塚町住宅 16

活用状況 5 (1階4号室, ガラス工房)



旧芦屋市宮宮塚町住宅 17

敷地の門

敷地の西側には、旧宮塚町住宅の活用に合わせてアーチ形の門を新設している。



旧芦屋市宮宮塚町住宅 18

周辺の景観

芦屋中央道(北西側)から撮影。敷地に面する道路より良く見えることから、周辺の良好な景観の形成に寄与している。